

一般社団法人地盤品質判定士会
神奈川支部
第八回総会

議案書（案） 公開版

令和6年（2024年）5月12日

第一号議案

2023年度事業報告・会計報告／監査報告

2023 (R5) 年度事業報告 <総括>

<年度方針>

- **新たな中期計画のもと、継続事業をさらに進展させるとともに、新規事業の足場を固める**
- **一般市民相談、行政の市民相談会への対応力を高める**
 - 一般市民相談の高止まり、行政の相談会の定例化への対応
 - 会員の資質向上を目指し、市民相談に役立つ事例集等の編集を進める
 - 登録相談員の参加意欲を高め、市民相談への戦力化を図る
- **委員会活動をさらに活発化し、共創の輪を広げる**
 - 行政との連携を深め、協定未締結の自治体への働きかけを探る
 - 市民団体、関連の業界団体等との連携のきっかけづくりを目指す
 - 既往提携団体に加え、市民が参加できる共創の場を造る
 - ぼうさいこくたい2023を契機につがりの拡大を図る

【(社)地盤品質判定士会本部・他支部との連携・協働対応】

- **他支部と連携して本部を支え、緊急・災害等への対応力を強化する**

<主な実施事項>

- **協定をベースに主要都市との連携は深まり、市民相談会の委託が定例化した**
 - 横浜市(含む各区)、川崎市の市民相談会の業務委託総額は約616万円に達した
 - 横浜市との協定・覚書に基づく災害時の緊急要請に7件対応した
- **市民からの相談案件はさらに増加し、集中時の対応等の課題がある**
 - 一般市民相談は過去最高件数に並び、相談会を通じた件数が大幅に増加した
(2022年度166件→2023年度163件、他に受託の市民相談会9件/117組)
 - 2年目の「宅地地盤相談室」は窓口業務の標準化、相談員選任の定型化を図った
 - 支部の登録相談員が増加し、新規参加の相談員が増えたが課題も多い
- **研修会は特徴のあるものに絞り込んで開催し、共創の場造りを図った**
 - 相談を契機に協力中の自治体の市事業への申請を支援し、NPOブルーアース他との共催セミナーおよびワークショップを開催、行政・市民の参画を得た
- **国の行事への参加、マスコミへの取材協力を通じて外部発信を進めた**
 - ぼうさいこくたい2023(於;横浜国大)に出展し、PR用の動画を作成・配布
 - NHK(首都圏局)、新聞各社(逗子関連)に取材協力し、放映および記事

【地盤品質判定士会本部・他支部との連携・協働】

- **判定士会の事務手続きの標準化、新規支部の設立準備に貢献した**
 - 委託業務の契約関連情報の管理を共通書式とセキュアSAMBAの活用で標準化した
 - 関東支部の設置へ向けて主導し、2025年度設立を目指して準備会を立ち上げた
- **他支部への相談員マニュアルの提供、合同勉強会の開催で連携を深めた**

3

【総務委員会】2023年度事業報告(Ⅰ)

□ 【達成】平時の防災・災害時の支援(活動継続へ向けて)

- 自治体への広報、訪問活動の継続:活動実績などのPR
・横浜市、川崎市、相模原市、厚木市へPR活動の継続実施
- 協定内容の具現化、他自治体への展開:意見交換会、災害時の支援体制整備、HP相互リンク
・各自治体と協議・意見交換の実施継続中

□ 【達成】自治体・市民団体との協働

- 委託業務受託 市民相談会の実施(2市 計:13日間・117組) ※詳細は一覧表参照
・横浜市『がけ地相談会』
建築局・西区・港北区 ;計9日間・83組 受託金額; 3,025,000 円
・川崎市まちづくり局『がけ・擁壁相談会』;計4日間・34組 受託金額:3,135,000 円
- 市職員向け研修会の実施
・川崎市:がけ・擁壁等の適切な維持管理に関わる講習会を実施 2023年9月4日
・逗子市:点検業務における講習会を実施 2024年1月24日・2月2日〔逗子部会〕
- 市民団体との協働は一部にとどまった〔はやま防災ネットワークとの意見交換会・ニュース掲載〕

4

相談会の概要

主催者	令和5年度 (2023年度)		曜日	会場	応募者 /募集枠	実相談員	現地調査
横浜市 西区		6月18日	日	西公会堂	6 / 6	2	-
		6月19日	月	西区役所	6 / 6	2	-
横浜市 建築局	第1回	7月27日	木	横浜市技能文化会館	11 / 12	4	-
		7月28日	金		11 / 12	4	-
		7月29日	土		12 / 12	4	-
	第2回	1月19日	金	日本丸訓練センター	12 / 12	4	-
		1月20日	土		12 / 12	4	-
		1月21日	日		11 / 12	4	-
横浜市港北区		12月8日	金	港北区区役所	2 / 6	2	-
川崎市	第1回	8月26日	土	麻生区役所	10 / 10	4	1
	第2回	10月21日	土	宮前区役所	9 / 10	4	1
	第3回	11月9日	木	多摩区役所	8 / 10	4	0
	第4回	11月26日	日	高津区役所	7 / 10	4	3
	その他	1月16日	火	高津区			1
	衛星SAR現地調査	1月31日	水	川崎市内7か所			1
合計					117/130	46	7

※ 相談時間：概ね10時～17時 昼休憩（1時間）各相談者1組に対し1時間

5

【総務委員会】2023年度事業報告(2)

□ 【一部達成】関連団体の具体化

- 2024年2月22日一般社団法人横浜市建築士事務所協会（ハマ建）
認定相談員研修会講師派遣・懇親会での意見交換
未達の理由：関連諸団体へのアプローチ方法協議、活動開始
⇒自治体との連携強化・相談会等の委託業務優先

□ 【達成】相談員研修会への協力継続

- 2023年11月28日本部相談員研修会〔一般〕講師として神奈川支部より3名参加

□ 【一部達成】広報活動チラシの改定（自治体用・市民用）

- 市民相談向けチラシ改定、再交付を実施（未達：自治体向けチラシ改定）
- 未達の理由**：自治体向けおよび市民相談向けチラシの改定，再送付
⇒自治体との連携強化・相談会等の委託業務優先

□ 【達成】支部運営力の強化

- 支部会員・登録相談員・委員会メンバーの増員活動の継続実施
支部会員 80名→83名，登録相談員 43名→50名，幹事 13名→15名（2023年度）

6

【技術委員会】 2023年度事業報告

□【継続】神奈川支部会員向けの研修会※の開催

- 【達成】E&E・防災セミナー(2023年11月1日 高舟台自治会館) 延べ2回のうち1回を判定士で担当
※NPOブルーアース、(一社)地域国土強靱化研究所との共催
2023年11月1日実施 専門家と一緒に考える『高舟台の地形・地質と防災』
講演会及びワークショップ: 一般市民、市・区職員・共催団体 延べ参加者数48名
- 【達成】野外巡検(2022年11月1日 高舟台自治会館周辺)
上記に加え、高舟台周辺の盛土層・基盤層・擁壁を中心に見学 延べ参加者数25名程度

□【継続】既存技術資料, 支部相談事例の収集

- 【未達成】次年度のデータベース構想に継続

□【継続】共創に向けた意見交換の実施

- 【達成】横浜市、川崎市、相模原市などとの意見交換
- 【達成】E&E・防災セミナー 一般市民・市職員 前出参照
- 【達成】川崎市職員向け講師派遣(2023年9月4日)
- 【達成】逗子市崖点検に関する講習会及び点検同行(2024年1月24日・2月2日)
- 【達成】ヨコハマ市民町普請事業への協力(高舟台自治会)

7

【宅地地盤相談室】 2023年度事業報告

相談対応の効率化のための各種施策をほぼ達成した。
問合せ案件172件〔内相談会8件延べ13日117組〕

□ 【ほぼ達成】登録相談員の教育・養成による実働相談員の増加

- 事例勉強会;対象を拡大・4回開催[6/25,8/27,12/2,2/3]、公開情報の実技演習[11/5]
- 相談員マニュアルの改定;Ver.2.0 ⇒Ver.2.1(2023.4.30)
- 市民相談会における実地教育;実働登録相談員18名(内新規7名)、一般会員の見学実施

□ 【ほぼ達成】各委員会等との連携による支部活動の充実

- 相談事例の収集と保管;案件リスト・相談票の記入完備、相談費用の事務局への情報提供
- 総務委員会と連携した市民相談会への相談員の派遣;相談員の公募、HP相談からの誘導
- 相談業務の各種手続きの分担→事務局業務の軽減;担当者による帳票の起案

□ 【ほぼ達成】本部・他支部との連携の緊密化

- 本部経由の依頼対応手順の標準化;完成、相談実績の共通帳票による情報共有
- 委託業務の手続きの仕組み作り;管理帳票による本部関係部門との情報共有
- 支部(東北・九州)への相談員マニュアルの提供、関西支部との合同勉強会

8

ぼうさいこくたい2023へ出展 「防災推進国民大会」

- 開催場所：横浜国立大学
- 開催日程：2023年(令和5年)9月17日(日)・18日(月・祝)
- 主催：内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議
※関東大震災発生から100年目の節目⇒震源地である神奈川県で開催
- 発表：ポスターセッション【2日間】
＋イグナイトステージ【17日午後】
- 神奈川支部が担当：リーダー；高橋副支部長
メンバー（各部門1名）；古市幹事、沼上幹事、立花室長
- 動画の作成：発表（高橋副支部長）の様態を撮影・編集
→MP4化、広く判定士会の広報への利用可能

9

2023年度 会計報告

項目	科目	予算		決算		記事
		収入	支出	収入	支出	
収入	前期繰越金	476,537		476,537		
	活動支援金(寄付)	80,000		81,762		支部分(事務手数料の1/2)
	委託業務経費(支部)	1,055,000		1,392,177		支部分(事務手数料の1/2)
	研修会等	50,000		2,000		R4開催野外巡検参加費用(1名分)
	小計	1,185,000		1,475,939		
	合計	1,661,537		1,952,476		
支出	総務委運営費		300,000		258,130	ぼうさいこくたい2023
	技術委運営費		180,000		65,358	
	相談室運営費		100,000		64,083	
	事務局運営費(経費)		105,000		215,517	カメラスピーカーセット
	事務局運営費(委託費)		55,000		55,000	
	小計		740,000		658,088	
	次期繰越金		921,537		1,294,388	

※収入に前年度(2022年度)川崎市市民相談会の委託料(2,134,000円)を含む

10

令和6年5月5日

一般社団法人 地盤品質判定士会 神奈川支部
支部長 立花 秀夫 様

監査報告

監査報告書

監事 片山 浩明 

令和5年(2023年)4月1日から、令和6年(2024年)3月31日までの会計及び業務の監査を行った結果を、次の通り報告します。

1. 監査方法の概要

- ①. 令和6年4月21日会計監査について帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要な監査手続きを実施するとともに、会計担当者から会計に関する報告を受け、会計報告の妥当性を検討しました。
- ②. 業務監査について、支部幹事から業務の報告を聴取し、支部幹事会議事録など必要と思われる資料の閲覧により業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査結果

- ①. 令和5年度の収支計算報告は、会計記録に基づいて作成されており、神奈川支部の収支および財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②. 令和5年度の事業は適切に実施されており、支部幹事の職務執行に関して不正行為や規則に違反する事実はないことを認めます。

以上

11

第二号議案

役員改選

12

新役員体制（案）【2024年度～2025年度】

部門	役職	氏名	記事
	支部長	立花 秀夫	※☆
	副支部長	高橋 一紀	※☆
事務局	事務局長	今村 誠治	☆
		渡井 富喜男	【新任】☆
	[事務補佐]	[村岡 史子]	環境地質サービス
総務委員会	委員長	福田 靖浩	☆
		神川 清	☆
		斉藤 真弘	☆
		古市 秀雄	☆
		須々田 幸治	【新任】☆
技術委員会	委員長	沼上 清	※☆
	副委員長	西村 真二	☆
		小倉 章	☆
		山田 岳峰	☆
		岸田 隆夫	☆
		野島 立也	
		大高 芳徳	【新任】☆
宅地地盤相談室	室長	立花 秀夫	
		堀田 統	
		細谷 由光	【新任】
		☆他部門との兼任14名	
	監事	片山 浩明	
サポーター	片山 浩明・小浪 岳治・酒井 健・福元 俊一・伊東 広敏・鈴木 考生 ;(前幹事)大串 豊※・(元幹事)細倉 摂央・大久保 拓郎		

※ 本部幹事 (敬称略)

13

第三号議案

2024年度事業計画・予算

14

2024（R6）年度事業計画〈方針〉

- 中期計画の中間年に当たり、継続事業をさらに進展させるとともに、新規事業に着手する
 - 一般市民相談、行政の市民相談会への対応力を高める
 - 市民相談の増加、行政の相談会の定着・拡大への対応力を強化する
 - 会員の資質向上と交流を目指し、事例勉強会の開催・対象拡大する
 - 既往相談事例のデータベース構想の早期実現へ向けた基礎作りを行う
 - 委員会活動をさらに活発化し、共創の輪を広げる
 - 支部会員向けの魅力ある研修会を企画運営する
 - 既往提携団体に加え、市民が参加できる共創の場を造る
 - 幹事、サポーターを増員し、支部運営力を強化する
- 【判定士会本部・他支部との連携・協働対応】
- 他支部と連携して本部を支え、緊急・災害等への対応力を強化する
 - 関東支部の設立へ向けて、神奈川支部の準備体制を整える

15

【総務委員会】 2024年度計画（案）

- 【継続】平時の防災・災害時の支援（活動継続へ向けて）
 - ・ 自治体への広報、訪問活動の継続：活動実績などのPR
 - ・ 協定内容の具現化、他自治体への展開：意見交換会、災害時の支援体制整備、HP相互リンク
- 【継続】自治体・市民団体との協働
 - ・ 行政主催の市民相談会の協力拡大：横浜市・川崎市からの受託、他自治体への展開
 - ・ 返子部会の活動（返子市、県）支援、職員向け講習会や点検同行
- 【継続】関連団体開拓の具体化
 - ・ 関連諸団体との連携強化、新団体へのアプローチ方法を協議継続、開拓活動開始
- 【継続】広報活動チラシの改定（自治体用）
 - ・ 自治体向けチラシの改定、再配布
- 【継続】支部運営力の強化
 - ・ 支部会員・登録相談員・委員会メンバーの増員活動の継続実施
 - ・ 市民相談会への相談員増員を目的とした広報活動

16

【技術委員会】 2024年度計画（案）

1. 神奈川支部会員向け研修見学会の企画・開催

- 1-1. 宅地造成工事見学の企画・計画・実施
- 1-2. 2025年度 崖・擁壁・宅地巡見の企画

2. 宅地相談案件データベース(DB)構想の具体化

- 2-1. 既存相談案件のDB化の企画・支部内協議(宅地地盤相談室連携)
- 2-2. 本部幹事会承認に基づくServer契約

3. 行政職員技術交流

- 3-1. 川崎市職員研修(総務委員会連携)
- 3-2. 逗子市職員研修・崖点検同行(逗子部会連携)

4. 防災/環境関連団体・市民交流

- 4-1. 2024～2026年度 E&Eセミナーの中期企画・関係者協議
- 4-2. 情報公開勉強会, 高舟台自治会との交流の継続

17

【宅地地盤相談室】 2024年度計画（案）

宅地地盤相談室活動の一層の活発化のため
相談対応の充実を目指し各種施策を継続実施する

- **【継続】登録相談員の教育・養成による実動相談員の増加**
 - ・ 事例勉強会の定期的開催と参加対象者拡大、新規参加相談員への教育・指導
 - ・ 公募案件への指導・フォローアップ、市民相談会での実地教育
- **【新規】相談案件の増加および多様化への対応体制の強化**
 - ・ 相談案件の増加への対応策の検討および実施
 - ・ 窓口業務における問題点・課題の整理と削減方法の検討・実施
- **【継続】各委員会等との連携による支部活動の充実**
 - ・ 技術委員会との協働で相談案件のデータベース構想の実現を図る
 - ・ 総務委員会と連携し相談案件の市民相談会への誘導
- **【継続】本部・他支部との連携の緊密化**
 - ・ 本部技術委員会からの依頼事項への対応、委託業務事務手続きの改善および調整
 - ・ 他支部からの要請事項への対応

18

2024年度 予算（案）

項目	科目	予算（案）		前年度決算		記事
		収入	支出	収入	支出	
収入	前期繰越金	1,294,388		476,537		繰越金+本部預り金
	活動支援金(寄付)等	80,000		81,762		寄付金、市民相談の紹介
	委託業務経費(支部)	985,000		1,392,177		相談料の本部振込分含む
	研修会等	50,000		2,000		参加費
	小計	1,155,000		1,475,939		
	合計	2,409,388		1,952,476		
支出	総務委運営費		100,000		258,130	チラシ
	技術委運営費		520,000		65,358	研修セミナー、データベース
	相談室運営費		100,000		64,083	育成費、勉強会等
	事務局運営費(経費)		340,000		215,517	総会講演、会議場、雑費
	同(委託費)		55,000		55,000	事務委託事項増
	小計		1,115,000		658,088	
	次期繰越金		1,294,388		1,294,388	

※活動支援金(寄付)等:相談料の10%相当の1/2を支部への按分として見込む

※委託業務経費(支部):相談会等の委託業務経費30%の1/2を支部への按分として見込む